2024-2025 Rotary WEEKLY
第2760地区 豊橋ゴールデンロータリークラブ
例会場 ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
事務局 豊橋市藤沢町141
ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
http://www.toyohashi-golden-rc.gr.jp
email golden@toyohashi-golden-rc.gr.jp

ステファニー A. アーチック会長
RIテーマ
THE MAGIC OF ROTARY

吉川公章ガバナー
地区方針
魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動
成長するロータリー

本多英司会長
クラブ方針
選ばれるブランドを育てよう

第 43 回(通算 1701 回)例会報告	令和 7 年 5 月 30 日(金)	青少年奉仕担当例会
ゲ ス ト	東愛知新聞社 竹下記者	
ビジター	豊橋北ＲＣ：２名	
出席報告	総会員数６１名(計算会員数５２名) 欠席１０名 出席率８０．７７％ 前々回修正出席率 91.07%	
歌／会場		会場：北部中学校 体育館 13:00～

委員長挨拶・趣旨説明

太田和彦青少年奉仕委員長

こんにちは。
本日、青少年奉仕委員会担当例会を開催させて頂きます。
会員の皆様、本日は、お忙しい中、ご出席いただき、また、これまでの準備等では大変お世話になり、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
心よりお礼申し上げます。

今年度の奉仕活動は「みんなで考え学ぶ防災教室」と題して、災害に備え、避難所運営ゲームを体験してもらい、状況を設定したプログラム体験することで、**災害時に**「自助から共助へ」発展させ、「自分には何ができるか」を考え、勇気を持って行動できる人材を育てる、ことを目標に、地域に貢献できる子供たちの育成に役立てたいと思います。

そして、学びや、体験から、**災害知識**や、**命の大切さ、助け合うことの大切さ**、についても、きづかせていく、機会としたいと思っています。

また、共に学ぶことで、人との信頼関係を築いて、共に物事を、進めていくことの喜びや、充実感を得ることができ、学校生活や、日々の生活が実りある、有意義なものとなり、今後の子供たちの、健やかな成長の、糧となればと思っています。
本日はどうぞ宜しくお願い致します。

※アンケート回答一覧は別紙参照

青少年奉仕担当例会
「みんなで考え学ぶ防災教室」

会長挨拶 本多英司会長

北部中学校のみなさんこんにちは。
今日、みなさんの中学校に来た私たちは、「豊橋ゴールデンロータリークラブ」という社会奉仕団体のメンバーです。
そして私は、「豊橋ゴールデンロータリークラブ」の会長の本多英司と言います。どうぞよろしくお願いします。
「ロータリークラブ」って聞いたことある人はいますか？
ロータリークラブは、約 120 年前にアメリカで生まれた団体で、そこから世界中に広まりました。
愛知県には 84 のクラブがあり、豊橋にも 5 つのクラブがあります。
ロータリークラブの人たちは、豊橋はもちろん、世界中で、自分たちの職業を通じて、社会がよくなるための活動をしています。
そしてその中でも私たち「豊橋ゴールデンロータリークラブ」は、皆さんのような将来を担う若者をサポートする活動に、力を入れています。
今日は、みなさんと一緒に「ＨＵＧゲーム」というゲームをします。このゲームでは、災害のときにどうすればいいのかなどを、私たちとみなさんが一緒に考え、学びます。
どんなゲームになるか、私たちもワクワクしています。
一緒に楽しみながら、ゲームしていきましょう。
最後になりましたが、今日こうしてみなさんと活動でき

る機会をくださった堀井校長先生をはじめ、北部中学校の先生方、ご協力いただける豊橋市役所のスタッフの皆さんに感謝いたします。ありがとうございます。
以上、わたしからのごあいさつです。ありがとうございました。

趣旨説明　　**太田和彦青少年奉仕委員長**

こんにちは。
わたくしは、豊橋ゴールデンRCの青少年奉仕委員会の太田と申します。
わたくしも、皆さんと同じ、北部中学校区の下地町に住んでいます。
本日、みんなで考え学ぶ防災教室を開催させていただきました。**その目的を、お話しさせて頂きます。**

我が国では、過去に、**阪神淡路大震災、東日本大震災、昨年には能登半島地震**と、地震の揺れと、テレビなどで津波の怖さを、身体で感じた大地震がありました。

さらに、近年30年以内には、80%の確率で起きる**南海トラフ巨大地震**が、予想されています。

早朝に発生した阪神淡路大震災で、被災された方のお話です。
「隣近所の多くの人が、協力してお互いに助け合い、励まし合いながら、困難を乗り越えてきました。**この命があるのは**、色々な人たちのおかげです。いつか襲うかもしれない地震などの災害への備えの重要さを訴え続けていきたいと思っています。」とお話しされていました。
子供から大人までのあらゆる世代に対して、災害知識を共に学ぶ機会をつくり、防災教育や、防災訓練等を継続的に行うことが必要だと考えています。

災害発生時には、まずは、**自分の命は自分で守ることが第1**です。自分が、生きていないと、何もできません。**次には**、人々の助け合いが、**大きな力**となります。

そして、災害のおそれや、災害によって、自宅で生活出来ない人が、一時的に避難生活を送るための場所（**避難所**）が、市によって指定されています。
その具体的な場所は、学校や体育館、公民館など、多くの人が、集まることのできる施設となっています。
皆さんが通学されている、この北部中学校も、指定避難所となっています。
皆さんが住まれている、この地域では、過去に、台風や大雨の、**水害も、**記録されています。この災害時にも、小学校の中にあります市民館に、避難された方もおられました。

避難所には、配慮や支援が、必要とされる、**高齢者**や**障害者**などの身体の不自由な人も来られます。
また、避難所での生活を送るとなると、肉体的にも、精神的にも、ダメージが蓄積されます。
たくさんの問題を、できるだけ解消していく必要があると言われています。

東日本大震災の避難生活で、「**中学生が大きな力になった**」というお話があります。災害直後、避難生活でも、自分たちにできることを見つけ、普段から行ってきたことを活かし、積極的に取り組んだそうです。
災害は、いつ、どこで発生するかわかりません。
そして、私たちも災害時に、避難所で生活することがあるかもしれません。
本日、行う、防災教室での『避難所運営ゲーム』を体験することを通して、災害時、いざという時に、一人ひとりが、少しでも、慌てずに、対処し、「**自分には何ができるか**」を、**考え、勇気を持って行動できることを目指して、学んでいきたいと思います。**
わたくしたちも、皆さんのグループの一員として、入れて頂き、**災害知識、命の大切さ、助け合うことの大切さ**について、**一緒に、楽しく**、学んでいきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

避難所運営ゲームの説明

豊橋市防災危機管理課
俵田宜弘氏

問題点の共有・まとめ

お礼の挨拶　　**本多英司会長**

★他クラブの例会変更

■6月10日（火）　宝　飯RC　会場都合のため
■6月17日（火）　宝　飯RC　本年度最終例会
　　豊橋北RC　本年度最終例会
　　田原パRC　最終例会（ｻｲﾝ無）
■6月18日（水）　豊橋東RC　最終例会
■6月19日（木）　田　原RC　最終例会
　　豊　橋RC　最終例会